

遊ベーシックデザイン

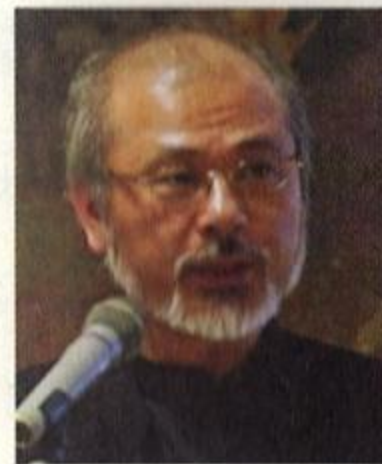
# 12月にモデル完成

## 道産カラマツでデザイン住宅

道産カラマツを使って30代前半の子育て世代に売りやすい低コストでデザインの良い住宅を作る手法を開発し、参加する工務店を募る—そんな



松浦喜則氏



友村太郎氏

事業が現在進んでいる。12月には札幌市内にモデルハウスも完成、来年春からは本格的に事業化するという。

企画したのは遊ベーシックデザインの会北海道支部（松浦喜則代表）。「可変性を求めたカラマツ住宅の企画・技術開発と担い手育成に関する事業」が平成22年度国土交通省地域木造住宅市場活性化推進事業として採択された。

30代前半の「ポスト団塊ジュニア世代」をターゲットに低コストでデザインの良い高性能住宅を開発し、参加工務店を募る無料セミナーを来年1月28日まで合計5回開催する。参加工務店とともに、来年4月からは道産カラマツのデザイン住宅を本格的に展開する予定だ。

第1回となる10月のセミナーでは、「道産カラマツ住宅で成功する工務店」セミナーと題し、まずは北海道庁の水産林務部職員が「地材地消について」講演、その後松浦氏が「今求められる、新しきデザイン住宅」というテーマで講演し、最後に(株)向上計画総合研究所代表取締役の友村太郎氏が「大工による集客・接

客」として、年間5棟から10棟程度の地域工務店で営業・経営がうまくいっている事例を発表した。

セミナーで松浦氏は、ポスト団塊ジュニア世代に必要な住宅提案として、「①家族・友人との生活を楽しめる」「②暮らしを楽しめる」「③家を趣味にする」という3つを挙げた上で、これは「工務店向きの顧客層である」と話した。

札幌市内で建設中のモデルハウスは、2階建てで延床面積は30坪台前半、建物価格は1500万円以下を目指して現在建設中。12月中の完成公開を予定している。

このモデルハウスは家族・友人との生活を重視する意味で土間をプランに取り入れ、上がり框をなくすことで来客とのフラットな関係を提案、またペット共生の提案もしやすくなる。さらに、薪ストーブを暖房に利用することで暮らしを楽しめ、家を楽しむという提案をしている。

セミナーの詳細、申込は、ホームページから。

セミナーの詳細

問い合わせ先 <http://buildersnet.jp/yu/>



12月公開予定のモデルハウスの模型